

桜中だより

長崎市立
桜馬場中学校
校長 大塚 潤

桜中の強みと課題

桜中の未来をともに考えよう

少し遅くなりましたが、12月末に行った学校評価の結果がまとまりましたので2回に分けて報告します。今年度の学校評価の結果を参考に、子どもたちにとってよりよい教育活動を目指し、新年度の学校教育活動及び学

校経営に生かしていきたいです。(数字は肯定的回答率)

「うれしい面」
①学校の雰囲気
「学校は明るく楽しい雰囲気である」生徒93%、保護者90%、教職員97%

②生活指導
「教職員は悩みや相談に親身に対応している」生徒90%、保護者83%、教職員92%
③人権教育
「生命や人権を尊重しようとする心が育っている」



高校調べ発表会の様子

生徒92%、保護者87%、教職員97%
④平和教育
「平和の大切さを感じ、その思いを発信しよう」としている生徒90%、保護者87%、教職員97%
⑤特色ある学校づくり
「伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている」生徒94%、保護者95%、教職員97%
⑥学習指導
「わかりやすい授業を行っている」生徒92%、保護者81%、教職員95%
⑦保健・衛生
「衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている」生徒94%、保護者89%、教職員97%
⑧体力向上
「体力向上に努めている」生徒93%、保護者87%、教職員97%
⑨安全管理
「児童生徒の安全に気を配っている」生徒94%、保護者91%、教職員100%
⑩情報提供
「学校の状況は通信やHP等で知ることが出来る」生徒94%、保護者98%、教職員97%

①職場環境
「学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる」教職員81%

【考察】
「学校の雰囲気」については、目ごろからあいさつや「ミニセッション」が活発に行われており、生徒会活動や行事も盛んであることからだと考えられます。今後もしっかりしていきたいところです。「特色

ある学校づくり」については、校区内での地域行事に進んで参加する生徒が多いことや、地域への貢献を目的に生徒総会でボランティア清掃活動の実施を決議し、生徒たち自身の手で実現させたことがこの成果と考えます。今後とも、地域との関係を大切にして、生徒の育成に努めていきます。「情報提供」については、三者ともに高水準でした。

斉メールやホームページ、学校だより等の各種通信で、学校の「今」をお届けできたのではないかと考えています。中でも、ホームページのアクセス数は市内でトップクラスを誇ります。今後も生徒たちの活躍をぜひご覧いただきたいです。
次号では、「改善が必要な面」を掲載します。

合格宣言 さだまさし ~開白宣言替え歌~

- お前を試験に送る前に 言っておきたいことがある
かなり厳しい話もするが 俺の本音を聞いておけ
夜遅くまで起きてはいけない 朝も遅くまで寝てはいけない
文字はうまく書け きれいな身なりでいる
先生の言う範囲で 構わないから
※忘れてくれるな 受験票 上履き 弁当
腹が減っては 試験など できるはずなどないってことを
みんなには どうしても 解けない問題もあるから
それ以外は間違いなく きちんとしてっかり解いてこい
- 公立高校と私立高校とどちらも同じだ 大切にしろ
面接試験 自信をもって 練習したから 笑顔が全て
それからつまらぬ 不安は持つな
今のみんなは受かる 多分受かると思う
受かるんじゃないかな まっちょっと覚悟はしておけ
※合格は みんなで 祝い合うもので
自分ひとりで喜び うかれるものではないはず
3年生は3年間 桜馬場で鍛えたのだから
心配はないと思う 必ず受かると思って受けてこい
- 合格証をついに手にしたら 1人だけで喜んではいけない
例えばわずか 一言でもいい 担任の先生に感謝の言葉を
それから 他にも みんなの応援団 顧問の先生 気にしているぞ
それから他にも 家族の支え ないことはない 感謝の言葉を
※忘れてくれるな 桜で学んだ力
自分を信じて 仲間を信じてみんなでゴールを目指そう

3月6日(水)7日(木)は公立後期選抜学力検査が行われます。

学年全体の48%にあたる66名の生徒が受験に挑みます。「受験は団体戦」の意気込みで、全員で力を合わせて、最後まで頑張ります。



表彰伝達式の一コマ おめでとう

生徒の感想

○ルールを心がけながら過ごすことで家族との時間を増やすことができた。(1年)

○チャレンジする機会がないとメディアを止めるタイミングがないので、少しずつ離れることができて良かった。

保護者の感想

○アプリの使用制限をもつと具体的に、親子で協力してメディアコントロールができるように頑張りたい。(2年)

り入りたい。(2年)
○寝る前にテレビやスマホの画面を見ないという意識が身に付いた。メディアを利用しないでもできることはたくさんあることに気づいた。(2年)
○夜更かししないようになったり、朝ご飯をしっかりと食べることができるようになった。(2年)
○親と一緒にしゃべる時間が増えて嬉しかった。(2年)
○メディアを使用しない時間は家族とトランプをしたり、勉強をしたりして充実した時間を過ごせた。メディアが終わっても自分で続けていきたい。(2年)
○アプリの使用制限をもつと具体的に、親子で協力してメディアコントロールができるように頑張りたい。(2年)

スクールカウンセラー便り

～“自分”とは？～

みなさんは今、「思春期」と呼ばれる時期にいます。思春期の特徴の一つに、「自分はどんな存在なんだろう?」と考えるというものがあります。
周りのお友達と比べて「あの子はあんなにできるのに自分は…」と自信がなくなったり、理想の芸能人と比べて「自分は駄目だ…」と落ち込んだりします。
これらは苦しいことですが、思春期にはこうして誰かと比べることは自然なことで、自分に目を向けて、自分をつくっていくことにつながるといわれています。
ただし、あまりにも高い目標と自分を比べて続けているとヘトヘトになってしまいます。
「比べてばかりで疲れた」と感じる人は、周りの人にその気持ちを話して、一緒に整理してもらうことをお勧めします。

高等学校の部活動参加について

長崎県中学校長と長崎私立中学高等学校長との意見交換会(11月30日実施)、長崎県中学校長と長崎県公立高等学校・特別支援学校長との意見交換会(12月13日実施)を行い、次のように確認しましたのでお知らせします。

◆高等学校合格者の部活動参加について◆

合格者が高等学校の部活動へ個人的に参加する場合は、中学校卒業式以降とし、保護者同意のもと傷害保険に加入し参加する。

※個人的な高等学校部活動参加の制限は、卒業前の中学校生活の充実と、もしもの事故のことを考えての申し合わせです。
中学校長が認め、中学校の部として参加する高校との合同練習等については別扱いとなります。
趣旨をご理解いただき、ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

なく、ファミリーメディアコントロールを考えることがいきつかけとなった。
コースがたくさんあることで取り組みやすくなっているなと思った。
○正直なところ子供に制限するほど、親もメディアの使い方がなっておらず、親子共々考え直すいい機会となった。
○成長するに従って、同じ空間にいる時間も減っていたが、この期間は家族との会話がなくなったように感じる。
○姉妹との関わりも増えて楽しい時間を過ごせた。
学習などいつもより始める時間が早く、行動に移すことができた。
○たくさんの誘惑がある中で、メディアと上手に付き合えるようになっていくのも感じている。